

第102回5月第1例会
(334-A地区第62回年次大会)

日 時 平成28年5月14日(土)
場 所 ウエスティンナゴヤキャッスル
出席率 86.7%
報告者 L西村 努

5月第1例会はライオンズクラブ国際協会334-A地区年次大会へ例会振替として参加いたしました。

午前中より、資格審査委員会、議事運営委員会、決議委員会を経て代議員会が開催されました。

議案1 前年度の決算承認、議案2 今年度の中間決算の承認、議案3 2020年東京オリンピック・パラリンピックへの協力金として会員一人につき1,000円(2017年度分)拠出、議案4 次年度地区アクティビティスローガンを、「夢・創造・未来への懸け橋」と選定、以上、4議案が審議、承認されました。

次いで野々山宗孝指名選挙委員長より、次期ガバナーにL垣見 正則(一宮サウスLC)、次期第一副地区ガバナーL野村 善弘(岡崎中央LC)、次期第二副地区ガバナーL浜島 清美(名古屋東山LC)が選挙により選出された旨の報告がありました。

大会式典に入りオープニングに「愛知県立松陰高等学校の和太鼓」の記念演奏があり、開会に先立ち119クラブのアクティビティが順に写し出され、加藤 史典地区ガバナーの開会宣言・開会ゴングにより開会した。

国旗儀礼、国家斉唱、ライオンズヒム斉唱、物故ライオン追悼と進み、参加クラブの紹介の後、加藤 史典地区ガバナーより挨拶がなされた。



続いて山田實紘国際会長より挨拶、河村たかし名古屋市長よりご来賓祝辞を頂いた。祝電披露に続き、中日新聞社代表取締役社長 小出 宣昭様より記念講演をいただきました。

中川 法恵記念アクティビティ部会長より映像を交え、記念アクティビティの発表がありました。

今年度新たに発足しました新クラブ名古屋MJFライオンズクラブが加藤 史典地区ガバナーより紹介されました。



加藤 史典地区ガバナーより年次報告、会計並びに監査報告を前年度会計報告は倉橋 保喜前年度キャビネット会計、監査報告は橋元 茂前年度地区会計監査委員、本年度中間会計報告は伊藤 民彦キャビネット会計、監査報告は大島 常孝地区会計監査委員よりそれぞれ報告がなされた。

中村 義枝決議委員長より大会提出議案 4件の決議事項を報告、次年度地区アクティビティ・スローガンは「夢・創造・未来への懸け橋」と発表。

続いて山田 實紘国際会長より記念講演を頂いた。



年次表彰が行なわれ、国際会長賞、国際会長リーダーシップ賞、国際会長感謝状が山田 實紘国際会長より授与され、我が名古屋シティライオンズクラブからはL前田 智史が国際会長感謝状を受けた。

次いで 334-A 地区関係年次表彰が行われ、ガバナー・アクティビティグランプリ、ガバナースペシャルアワード等、受賞者を加藤 史典地区ガバナーより表彰。我が名古屋シティライオンズクラブはガバナーアクティビティグランプリという 120 クラブの頂点を受賞した。クラブを代表し、会長L田辺 義晴が登壇し、表彰されました。

野々山 宗孝指名選挙委員長より、次期地区ガバナー 次期第1副地区ガバナー 次期第2副地区ガバナーの発表。加藤 史典地区ガバナーが垣見 正則地区ガバナーエレクトを紹介した。西尾 恒章キャビネット幹事により次期第1副地区ガバナー 次期第2副地区ガバナー 次期地区キャビネット幹事 次期地区キャビネット会計の紹介後、垣見 正則地区ガバナーエレクトの挨拶があった。

次期開催地は名古屋市、ホストクラブは3R・5R・6R 計36クラブと発表があった。一宮サウスライオンズクラブ次期会長及び各ホストクラブ次期会長が次年度の開催地のPRを行った。

木村 紘大会委員長はじめ総勢30名の大会役員によるライオンズ・ローアを行った後、加藤 史典地区ガバナーの閉会宣言並びにゴングにより大会式典は成功裡に閉会となった。